

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	韓国語Ⅱ					授業形態	講義		
科目コード	531338	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員			Active・L
担当教員名	韓 壽燕							ICT活用	
授業概要	この授業では「韓国語Ⅰ」で学んだ基礎の上に文法項目や表現を積み上げながら、話せる話題とコミュニケーション機能を伸ばしていきます。韓国語を学んでいく過程を通じ、ことばのみならず人々の生活や文化にも興味を持ち積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢とスキルを身につけることを目的としています。この授業での経験が異文化・他言語を持つ他人への関心と理解を高め、コミュニケーション力向上につながる事を期待します。								
関連する科目	韓国語Ⅰ								
授業の方法と進め方	この授業では、ペアワークやグループワーク、発表などを通して積極的に声を出しコミュニケーションにつなげ「知る」だけではなく「使える」を目標に進めていきます。 前期に学んだ基礎の上に文法項目や表現を積み上げながら、話せる話題（趣味・好み・夢…）やコミュニケーション機能（買い物・注文・日程を聞く・道を尋ねる…）を増やしていきます。ことばだけではなく会話場面の背景にある韓国の社会や習慣にも興味を持つことで、もっと知りたい・もっと話せるようになりたいという意欲が育つことを期待します。状況の異なる相手（ここでは、文化や言語力など）とコミュニケーションをとるためには、相手を知ろうとする気持ちと自分のことを知ってもらうための工夫が必要であることに自ずと気が付くことでしょう。								
第1回	【春休みのことを話す】 内容：春休みの体験を話す 韓国・韓国語関連の体験したこと（例：韓国料理を作ってみた、ハングルの看板を見つけた、ドラマを見たなど）や各自興味のある分野（音楽・アイドル・料理など）について調べてたことをグループ内で披露 方法：講義・グループワーク 課題：宿題1（第5課単語予習）								
第2回	【第5課】 内容：趣味について話す/好き嫌いを言う/丁寧体活用 方法：講義・グループワーク 課題：宿題2（第5課復習・第6課単語予習）								
第3回	【第6課】 内容：職業や夢について話す/相手の意向を聞く 方法：講義・グループワーク 課題：宿題3（第6課復習・第7課単語予習）								
第4回	【第7課】 内容：買い物をする/値段を聞き取る/モノを比較する ロールプレイ準備1（グループ） 方法：講義・グループワーク 課題：宿題4（第7課復習・第8課単語予習）								
第5回	【第8課】 内容：注文する/計算する/丁寧体活用練習 方法：講義・グループワーク 課題：会話テスト準備/活用練習								
第6回	【会話テスト1】【まとめ復習】 内容：趣味・夢についての質問に答える（会話試験）/活用テスト（用言①） 方法：試験・講義 復習：漢数詞・固有数詞・買い物や注文の場面で決まり文句/ロールプレイ準備								
第7回	【買い物・注文ロールプレイ】 内容：模擬店の形式で買い物、注文、お金のやり取りを体験する 方法：ロールプレイ 課題：宿題5（第8課復習・第9課単語予習）								
第8回	【第9課】 内容：漢数詞・日付・曜日の言い方を覚える/誕生日について話す/他人と比較する 方法：講義・グループワーク 課題：宿題6（第9課復習・第10課単語予習）								
第9回	【第10課】 内容：固有数字・時間の言い方を覚える/日程や予定について話す 方法：講義・グループワーク 課題：宿題7（第10課復習・第11課単語予習）								

第10回	【第11課】 内容：道を訊く/道案内をする 方法：講義・グループワーク 課題：宿題8（第11課復習）会話テスト準備/数詞まとめ復習
第11回	【会話テスト2】【まとめ復習】 内容：誕生日・自宅の場所についての質問に答える（会話テスト）/数詞関連テスト 方法：口頭試験・筆記試験・講義 課題：宿題9（第12課単語予習）
第12回	【第12課】 内容：過去形・ショッピングについて話す・理由を聞く 方法：講義・グループワーク 課題：宿題10（第12課復習・第13課単語予習）
第13回	【第13課】 内容：味について話す/理由をたずねる 方法：講義・グループワーク 課題：宿題11（第13課復習・第14課単語予習）
第14回	【第14課】 内容：天気について話す/自然現象をいう 方法：講義・グループワーク 課題：宿題12（第14課復習・第15課単語予習）
第15回	【第15課】 内容：学校生活について話す/理由を説明する 方法：講義・グループワーク 課題：宿題まとめ提出/スピーチ準備/活用②練習 【期末試験準備】 内容：入学してからの大学生活のことやこれからしたいことを述べる（スピーチ）/活用テスト（用言②）
授業の達成目標	①趣味、好きな事、誕生日、住んでいるところなど日常の身近なことについて韓国語で簡単な会話のやり取りができる ②モデル会話の背景にある韓国文化・韓国事情を知り、自ら積極的に興味を持つようになる。 ③ロールプレイを通じ、韓国語を使つての注文や買い物の場面でのやり取りに自信が付く。 ④自分の経験したことやこれからしたいことを韓国語でまとめて述べられる。
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。／2.自分の言葉で表現できる能力を有する。／3.現代社会に関する基本的知識を有する。／4.多文化・異文化に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	テキストや資料に沿って単語を重心に予習する。声に出して練習することを心かける(週60分程度)
授業時間外学【復習】	テキストの会話と練習問題、出された課題で自習する。(週60分程度) 韓国の社会・文化に関心を持ち、情報を収集し知識を深める。(週60分程度)
課題に対するフィードバック	毎回課題が出されます。 課題は次の授業までに提出、返却されたらチェックされているところを見直して訂正しておきます。(質問があったら余白などに書いて提出) 期末に訂正が済んだ課題をまとめて提出してもらいます。(平常点として成績に反映されます)
評価方法・基準	<授業への参加度・課題>55% 活動への積極的な参加（16%）ロールプレイ（5%）小テスト（10%）課題12回分（24%） <口頭試験>45% 会話テスト1：趣味・将来の夢についての質問に、自分のことを韓国語で答える（15%） 会話テスト2：誕生日・今住んでいるところや出身地のことについての質問に、自分のことを韓国語で答える（15%） 会話テスト3：学校生活やこれからしたいことについて話す（15%） ※口頭試験の評価基準 ①質問が正確に聞きとれていて、的確な内容の答えをしているか ②質問が聞き取れなかったり確認したいとき聞き返すことができているか ③適切なスピード、声の大きさ、発音で話している内容が十分に伝わっているか ④スピーチの場合は、スピーチに適切な内容にまとめられ、聞き取れる韓国語で発表できているか
テキスト	『バランス韓国語会話入門』金京子（2014）朝日出版社 ISBN: 978-4-255-55634-5
参考書	使用しない
備考	※履修条件：「韓国語Ⅰ」の単位を修得済み、もしくはそれに準ずる韓国語の予備知識があること ※外国語の学習は積み重ねが肝心です。欠席しないよう心かけ、授業中の活動や課題などに積極的に取り組みましょう